



2010
環境・CSR報告書

2010年5月

株式会社 富士通ワイエフシー

shaping tomorrow with you

Copyright 2010 FUJITSU YFC LIMITED.



C o n t e n t s



▶	ごあいさつ	▶▶ 2
▶	会社概要	▶▶ 3
▶	沿革	▶▶ 4
▶	富士通グループの環境方針	▶▶ 5
▶	富士通ワイエフシーの環境活動実績	▶▶ 6
▶	2009年度環境目標/実績	▶▶ 7
▶	2010年度環境目標	▶▶ 8
▶	環境ソリューション	▶▶ 9
▶	トピックス 医療ワンストップサポートセンター	▶▶ 11
▶	特集 産学連携	▶▶ 12
▶	ボランティア活動について	▶▶ 16
▶	コンプライアンス	▶▶ 17
▶	個人情報について	▶▶ 18
▶	事故事例報告	▶▶ 19

■ 報告対象範囲

本書では当社の環境的側面並びに社会的側面の一部に関する考え方、取り組み、成果を報告しています。なお、ワークライフバランスに関する分野は「ワークライフバランス白書」にて報告しております。

お問合せ先

経営戦略室
〒221-0052
神奈川県横浜市神奈川区栄町3-12
パシフィックマークス横浜イースト
TEL:045-453-7887 FAX:045-453-7886

発行人

発行 2010年5月（次回2011年5月予定）
発行責任者 代表取締役社長 宮浦 完次
企画・編集責任者 経営戦略室 田澤 隆
発行部署 株式会社富士通ワイエフシー
経営戦略室

本書の対象期間

2009年4月1日から2010年3月31日まで（一部を除く）
これ以前の報告につきましては、当社ホームページに
バックナンバーを掲載しておりますので、こちらからご
確認下さい。

http://jp.fujitsu.com/group/yfc/topics/topics_csr.html

バックナンバー
環境・CSR報告書(No.2) 2009年度版
環境・CSR報告書(No.1) 2008年度版



社会貢献として、経営戦略として、
環境負荷軽減に全力を尽くします。

弊社は、1966年の創業より地元神奈川のお客様のために、コンピュータによる受託計算を行って参りました。

それまで人が行っていた業務を、コンピュータが肩代わりして行うことで、結果として業務の効率化や、企業の円滑な経営に僅かでも貢献することが出来たのではないかと考えております。それが、企業の社会的貢献(CSR)であり、また台帳などのデータ化による紙の消費削減、省力化や効率化でCO2の削減に寄与して参りました。現在は、アウトソーシング、ASP、SaaSなどと呼び方は変わりましたが、その役割や成果は変わることなく受け継がれております。

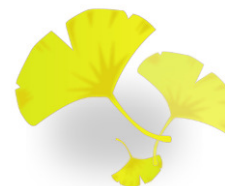
弊社は、平成18年に創立40周年を迎え、改めて経営ビジョンを「地元のお客様のために世界一のITソリューションを提供しつづける企業を目指す」としました。これは、地元貢献、CSR、環境対策の面でも、世界一を目指すということを表しております。

2006年から取り組んで参りましたテレワークの導入やワークライフバランス推進は、まさに環境・CSRに対する具体的かつ効果的なプログラムです。今後は、これらをさらに拡大・定着させ、また新たな挑戦も行い、地域社会の多様な働き方の実現と環境維持・改善に貢献して参りたいと思っております。

一方、富士通グループは、2008年7月に、中期環境ビジョン「Green Policy 2020」を策定し、環境イノベーションによって、約3,000万トンのCO2排出量を削減するべく取り組んでおります。弊社もグループ企業の一員として、そのポリシーを遵守し、弊社自らのCO2削減はもちろん、お客様および地域社会のCO2削減に寄与するため、様々な環境ソリューションをご提供して参ります。

CO2排出量を削減した各種サーバやERPの「GLOVIAシリーズ」、POSシステム、車載ステーション・デジタルタコメータ、また、弊社独自のパッケージで、病院等の看護師様の勤務表割振作成を支援する『らくらく師長さん』、さらには昨今のトレンドでもある「ワークライフバランス」の実現と環境問題の双方に大きく貢献出来るテレワークソリューション『らくらくテレワーク』等により、具体的に環境負荷軽減に貢献しております。

最後に、弊社のお客様はもちろん、地域の皆様にも、弊社の取組に関心をお寄せ頂き、ご意見など、是非弊社の経営戦略室までご連絡を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。



横浜市の木「イチョウ」の葉



2010年5月

株式会社富士通ワイエフシー
代表取締役社長

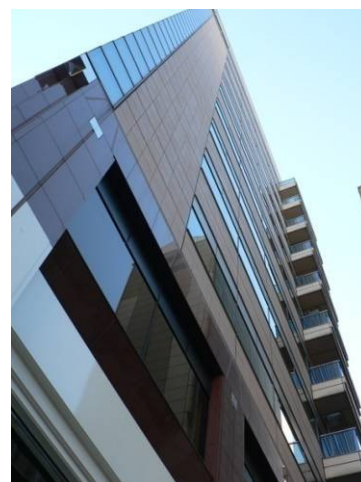
宮浦 完次



会社概要



- **社名** 株式会社富士通ワイエフシー
- **設立** 1966年3月25日
- **資本金** 1億円（富士通株式会社100%）
- **社員数** 360名（2010年4月現在）
- **売上高** 4,716百万円（2010年3月期）
- **事業所**
 - 本社 パシフィックマークス横浜イースト
〒221-0052 横浜市神奈川区栄町3-12
 - アウトソーシングセンター：
〒221-0057 横浜市神奈川区青木町4-6



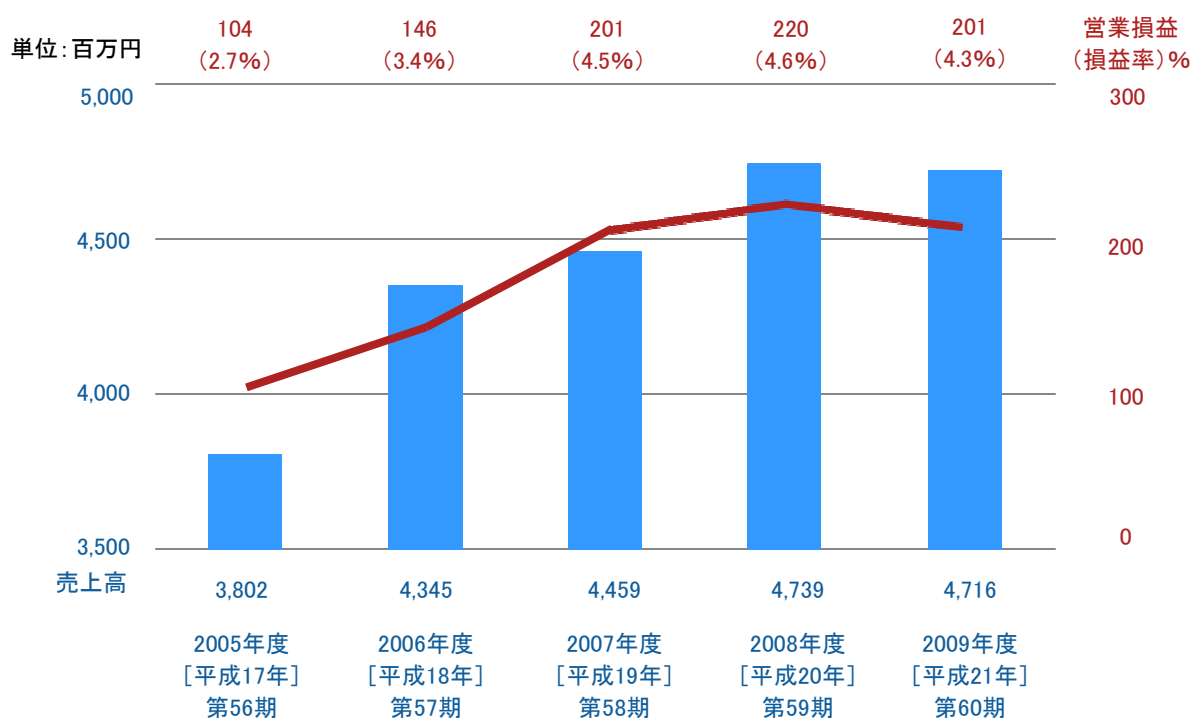
■ 事業内容

- ・ 医療/公共/文教/製造/流通/情報サービス/金融業向けのコンサルティング
- ・ システム開発
- ・ アウトソーシングサービス

■ 公的認定資格

- ・ ISO9001（品質マネジメントシステム）：2008年度版
- ・ ISO14001（環境マネジメントシステム）：2004年度版
- ・ ISO27001（情報セキュリティマネジメントシステム）：2006年度版
- ・ プライバシーマーク

■ 売上・営業損益





■ 昭和41年03月

富士通株式会社と扶桑電通株式会社の共同出資により資本金1千万円をもって株式会社扶桑ファコムセンターとして発足

■ 昭和46年05月

新たに株式会社横浜銀行の資本参加を得て、資本金5千万円(授權資本1億円)に増資
商号を株式会社横浜ファコムセンターに変更

■ 昭和56年06月

神奈川県青木町に本社ビルを新築

■ 平成元年04月

資本金1億円(授權資本4億円)に増資

■ 平成元年05月

本部事務所を新横浜に開設

■ 平成02年04月

商号を株式会社ワイエフシーに変更

■ 平成07年09月

本社ビルが通産省の電算機システム安全対策実施事業所に認定(関東第82-(1)号)

■ 平成12年07月

事業部門 ISO9001(品質マネジメントシステム) 認証取得(登録番号:JQA-QM5092)

■ 平成13年04月

商号を株式会社富士通ワイエフシーに変更

■ 平成14年01月

本社事業所 ISMS(情報セキュリティマネジメントシステム)認証取得(認証番号:JQA-ISMS0011)

■ 平成14年07月

新横浜事務所を横浜市神奈川区栄町に移転
神奈川区栄町を「本社」、青木町を「アウトソーシングセンター」と改称

■ 平成16年03月

経済産業省システムインテグレーター企業に登録

■ 平成17年03月

ISO14001(環境マネジメントシステム)富士通グループ 統合認証取得(登録番号:EC98J2005)

■ 平成17年06月

JIS Q15001:1999 プライバシーマーク付与(認定番号 第A820505(01)号)

■ 平成18年01月

アウトソーシングセンターに生体認証(静脈認証)装置を導入しセキュリティを強化

■ 平成18年04月

病院向け遠隔運用監視センターを本社内にリニューアルオープン

■ 平成19年10月

第8回 テレワーク推進賞 優秀賞受賞

■ 平成20年01月

第1回 よこはまグッドバランス賞 受賞

■ 平成20年02月

第1回 J-win Award 敢闘賞受賞

■ 平成20年09月

第9回 テレワーク推進賞 優秀賞受賞

■ 平成20年09月

次世代認定マーク(くるみん)の取得

■ 平成20年10月

均等・両立推進企業表彰(ファミリー・フレンドリー企業部門)神奈川労働局長優良賞受賞

■ 平成20年11月

医療ワンストップサポートセンター リニューアルオープン

■ 平成21年04月

横浜市より、横浜型地域貢献企業に認定

■ 平成21年07月

第2アウトソーシングセンター オープン

■ 平成21年09月

第10回 テレワーク推進賞 優秀賞3年連続受賞





すべてをグリーンにします。美しい地球環境を未来の世代へと受け継いでいくために。

■ 富士通グループの一員として

当社では富士通グループの環境方針、並びに富士通ワイエフシー環境方針に基づいた環境保全の取り組みを行っております。低炭素で豊かな社会実現のため、自社の活動から発生する環境負荷の抑制と、当社環境ソリューションの提供によって、お客様の環境負荷削減への取り組みに貢献して参ります。

■ 富士通グループの環境活動

富士通グループは、FUJITSU wayの企業方針に掲げた「社会に貢献し、地球環境を守ります」に基づき、美しい地球環境が次の世代へと受け継がれるよう、環境保全を経営の最重要事項の一つと位置づけ、全事業領域にわたり明確な目標を設定し、計画的かつ継続的に活動を展開しています。

富士通グループ環境方針

<http://jp.fujitsu.com/about/csr/eco/approach/policy/>

■ 中期環境ビジョン「Green Policy 2020」

2020年という中期にわたって、富士通グループが果たすべき役割と方向性を示したものが、中期環境ビジョン「Green Policy 2020」です。ITの提供により、「低炭素で豊かな社会の実現」に貢献していくことをめざしています。

■ 第6期富士通グループ環境行動計画

富士通グループでは、環境方針に則り、環境経営を強化していくための具体的な目標として中期行動計画を策定しています。現在は、「第6期富士通グループ環境行動計画(2010～2012年度)」を策定し、この計画に則った環境活動を推進しています。

第6期環境行動計画について

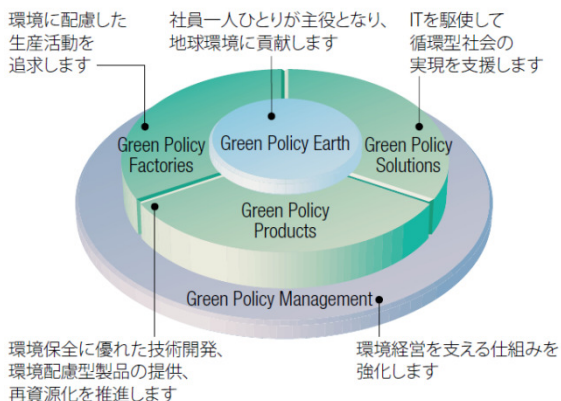
<http://jp.fujitsu.com/about/csr/eco/management/plan/stage6/>

■ 環境コンセプト「Green Policy 21」

富士通の創業以来の「自然と共生するものづくり」という考え方をグループ全社員に浸透させ、日々の業務における実践を促すために、単なる意思表示を越える行動コンセプトとして明記したものが「Green Policy 21」です。「すべてをグリーンにします」をスローガンとして掲げ、このコンセプトをあらゆる事業領域で実践していきます。また富士通グループの事業の独自性を反映させた環境経営を推進するための「富士通グループ環境方針」を定めています。

環境コンセプト「Green Policy 21」

すべてをグリーンにします



■ お客様の環境負荷低減プロジェクト「Green Policy Innovation」

富士通グループが有する環境テクノロジーやノウハウを活かしたグリーンITの提供を通じて、お客様や社会で発生する環境負荷の低減をめざす取り組みです。

日本国内では2007年度から2010年度にかけての4年間で、累計で約700万トン以上、お客様や社会におけるCO2排出量の削減に貢献することを目標に掲げ、着実に成果を上げてきました。そして、世界全体の温室効果ガス排出量の削減により大きく貢献するため、新たにグローバルな目標を設定しました。具体的には、2009年度から2012年度の4年間で累計1,500万トン以上のCO2削減を目指します。





事業活動を通じて環境保全に取り組み、地域社会と共に歩みます。

■ 「ISO14001国内富士通グループ統合認証取得」

～ 大規模の統合ISO14001認証取得～

富士通グループでは2004年6月より富士通およびグループ企業98社が一体となって統合環境マネジメントシステムの構築に取り組んでまいりましたが、2005年3月に認証機関である(株)日本環境認証機構(JACO)により、富士通グループの環境マネジメントシステムが「ISO14001に準拠(合格)」と判定されました。

今後も富士通グループ環境方針に則り、事業活動を通じて環境保全に取り組み、地域社会との共存を図って参ります。



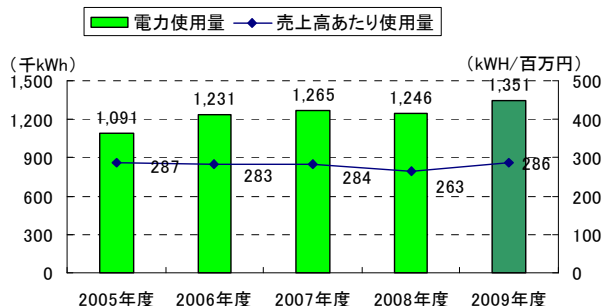
■ 省エネについて

当社では以下の取り組みの実施により、省エネ活動の推進に努めております。

1. クールビズ、ウォームビズの実施。(富士通グループとして、チーム-6%運動に参加)
2. 昼休み消灯の実施。
3. PCの省エネモード設定。(スタンバイ、またはモニター電源OFFの設定)
4. 社内移動時のエレベータ使用抑止

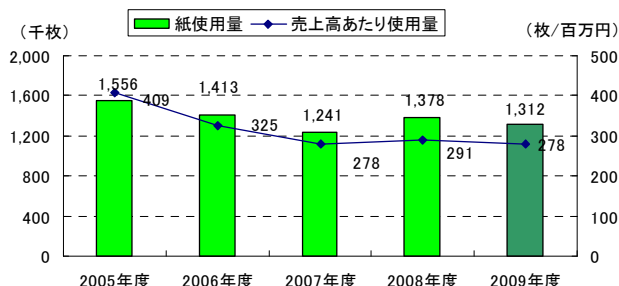
■ 環境負荷実績・削減取り組み報告

電力使用量推移



2009年度は事務所関連の電力消費は微減致しましたが、データセンター運用の消費電力が増えた結果1351千kWhの消費となりました。

紙使用量推移



■ 用紙使用量の削減について

用紙使用については以下の取り組みを行っております。

- 両面印刷、Nアップ印刷
- 社内資料印刷の見直しによる不要印刷の抑制
- 裏紙活用(ただし重要資料は除く)

2009年度は社員20名の増員がありましたが、削減の取り組みを継続し前年度比約5%の削減を達成しました。

■ ペーパーリサイクルシステムを導入

2010年4月より当社では富士通グループの「全国ペーパーリサイクルシステム」を導入しました。これは富士通グループ各事務所から排出される機密文書と一般古紙類を近隣事務所で巡回回収を行い、効率的に収集するものです。通常シュレッダー屑は焼却処理されてしまいますが、金属製の鍵付きボックスに書類を裁断せずに収集する事で機密書類も含めて安全にリサイクルを行います。



日本フォレスト(株)の「データプロテクターMr. あんしん」を利用しております。



2009年度環境目標/実績



クリーンな未来へ、確実な一歩を。私たちは真剣に取り組んでいます。

2009年度は以下の環境目標を設定し、活動を行いました。年間を通した継続的な取り組みの結果、全ての項目で目標を達成致しました。2010年度も目標の達成に向けてより一層環境活動に取り組んで参ります。

環境目的	環境目標	実績	達成状況
2009年度末までに、「環境シンボルマーク」が挿入された提案書を使用した提案回数、医療ビジネス本部員の100%にあたる50件(環境提案件数)以上にする。	2009年度末までに、「環境シンボルマーク」が挿入された提案書を使用した提案回数が、医療ビジネス本部員の100%にあたる50件(環境提案件数)以上にする。	「環境シンボルマークの周知/活用について」を社内Webへ掲載。 環境提案件数62件を達成した。	○
電気使用量の削減※1 (2011年度末までに電気使用量を2008年度実績比3%削減し、440千kWhとする)	電気使用量を2008年度実績比1%削減し、448千kWhとする。	電気使用量が計画値448千kWhに対して実績値447千kWhと下回っている。	○
産業廃棄物、一般廃棄物(紙、ダンボール、機密文書)を2009年度末までにゼロエミッションを達成する	一般廃棄物(紙、ダンボール)について2009年度末までに、ゼロエミッションを達成する。 産業廃棄物、機密文書、OA機器の排出に関する運用管理を行う。	産廃、機密文書、OA機器排出の実績値を毎月計測/結果をWebへ公開している。 紙はペーパーリサイクルシステムを導入し、ダンボールは地域の廃品回収、サーマルによりゼロエミッションを達成した。	○
環境社会貢献活動の推進 (2009年度末までに、3件環境社会貢献活動を実施する)	環境社会貢献活動(ボランティア活動など)を、1件以上実施する。	環境社会貢献活動として、OL-AIDを企画/ Webへ参加の呼びかけを掲載し、4月より活動を開始/ 継続中である。 実績結果を社内Webへ公開した。	○
紙使用量の削減 (2010年度末までに事務系紙発注量を2006年度実績比4%削減し、136万枚とする)	事務系紙発注量を2006年度実績比3%削減し、137万枚とする。	計画値(1371千枚)に対して、実績値(1312千枚)が下回っている。 啓発文、ポスターを作成、各フロアへ掲示した(プロジェクト等の利用推進含む)。	◎
廃棄物適正管理の推進 (2009年度末までに、産廃業者へ立ち入り監査を実施する)	富士通グループ他拠点の監査結果を確認/産廃業者へ立ち入り監査を実施する。	富士通グループ他拠点の監査結果を確認。 確認結果を環境ISO管理委員会にて報告。	○

※1 空調、照明等の事務所関連の電力消費を対象とし、アウトソーシングセンター運用等にかかる消費量を除きます。

◎:大幅に達成 ○:達成 △:未達成



2010年度環境目標



2010年度は以下の環境目標を設定しております。

環境目的	環境目標
「環境をキーとした提案」活動の推進 (2012年度末までにお客様に対して「CO2削減率・削減量」を盛り込んだ提案を50件以上行う。)	2010年度末までに、お客様に対して「CO2削減率・削減量」を盛り込んだ提案を25件以上行う。
電気使用量の削減※1 (2012年度末までに電気使用量を2009年度実績比3%削減し、434千kWhとする)	電気使用量を2009年度実績比1%削減し、443千kWhとする。
産業廃棄物、一般廃棄物(紙、ダンボール、機密文書)を2009年度末までにゼロエミッションを達成する	環境社会貢献活動(ボランティア活動など)を、1件以上実施する。
生物多様性保全活動の推進 (2012年度末までに、3件生物多様性保全活動を実施する)	生物多様性保全活動を、1件以上実施する。
環境コミュニケーション活動の推進 (2012年度末までに、3件環境コミュニケーション活動を実施する)	環境コミュニケーション活動を、1件以上実施する。

※1 空調、照明等の事務所関連の電力消費を対象とし、アウトソーシングセンター運用等にかかる消費量を除きます。

■ 2010年度目標達成に向けた取り組み

チャレンジ25キャンペーンに参加しています。

当社は富士通グループの一員として、チャレンジ25キャンペーンに参加しています。社員啓発活動として、職場内にチャレンジ25のポスターを掲示しています。



チャレンジ25ポスター



環境ソリューション

環境負荷と業務負荷、双方の低減を実現いたします。

■ 環境に配慮した第2アウトソーシングセンターを開設しました

2009年7月1日より横浜市内に新たに開設した第2アウトソーシングセンターのサービスを開始致しました。当社の第2センターは、最新技術による免震構造の建物や冗長構成を採用した電源、空調設備、また虹彩認証によるセキュリティ対策やグリーンITへの対応等、国内最高レベルの設備を備えたセンターで高いIT守備力を実現し、アウトソーシングの分野に於ける各種のソリューションサービスを提供し、お客様のコストダウンを早期に実現することで、「お客様にとってのかけがえのないパートナー」を目指して参ります。

■ 国内最高レベルの安全性をもつファシリティ

災害リスクを考慮して水害や液状化の危険が少ない硬質な地盤に建設。

首都圏(神奈川県横浜市)に位置しており、災害時にも来館可能な好条件の立地。

更に、最新の免震技術であるハイブリッドTASS構法による免震構造の建物や冗長構成を採用した電源、空調などの設備を備え、災害対策(ディザスタリカバリ)やBCP(事業継続計画)に柔軟に対応しており、発電装置は停電時にも48時間連続運転が可能です。

■ 環境に配慮したグリーンデータセンター

温熱環境シミュレーションの実施として、高度な熱解析技術や最先端VRシステム「Hybrid Vision(ハイブリッドビジョン)」を活用したエアフロー設計を採用。77cmのフリーアクセス高と階高5mを確保し、天井フラットスラブ採用による空調効率の向上やエネルギー監視システムによる省電力化を図り、全熱交換型換気方式による廃熱回収により、設備・機器等にかかる負荷低減などグリーンITへの対応をしております。

当社の第2センターは、建築物総合環境性能評価(CASBEE横浜)において「Aランク」を獲得しました。



第2アウトソーシングセンターイメージ図

■ 第2センターの環境配慮技術

- 室外機や非常用の発電機などの屋上設備を屋上に直接配置せず、屋上から2m程高い位置に設置する事で、熱溜まりを防止する屋上床上げ設計を採用しています。
- サーバの排熱が集まる空間(ホットアイル)と空調の冷気が集まる空間(コールドアイル)を明確に区分けする事で、効率の良いサーバ冷却を実現しております。

■ 最新のセキュリティ対策

非接触ICカードとパスワード、生体認証技術(虹彩認証)を採用したアクセス制限、フラッパゲート、マントラップを組み合わせた入室管理により、他に類を見ない安全性を確保しております。

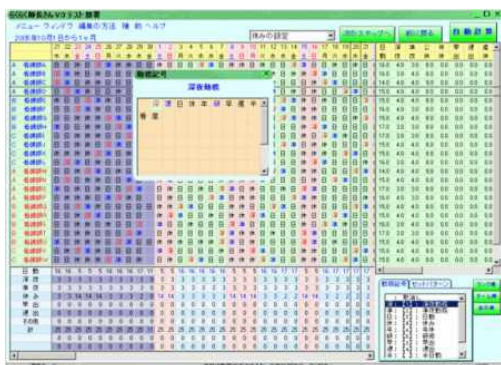
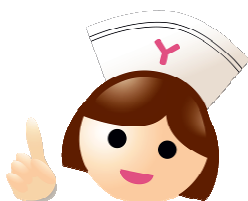




■ 看護支援システム らくらく師長さん

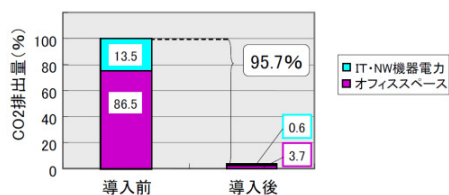
らくらく師長さんは看護職員の勤務割作成を中心とした看護管理業務の支援システムです。看護職員の人事情報管理や、勤務情報を利用して夜勤看護加算の判定や届出帳票の印刷など、多数のオプション機能で看護管理業務を強力にサポートします。個人またはグループ単位で、利用できる機能を設定することができるなど、セキュリティも万全です。

らくらく師長さんは富士通株式会社の定めるGRN規格：『環境貢献ソリューション運用制度に関する規定』（規格番号：GRN00-60001）に基づく認定を受けました。



「らくらく師長さん」勤務表作成画面

勤務割振表作成支援システム 「らくらく師長さん」のCO₂排出量比較



(100床規模の社会福祉施設のケース)

2 All Rights Reserved. Copyright © 富士通株式会社 2006

■ 環境貢献ソリューションとは

ITソリューション導入による環境貢献効果(二酸化炭素排出量削減効果)を定量的に評価し、一定基準を上回る商品を「環境貢献ソリューション」として認定します。現在の基準値は15%です。「環境貢献ソリューション認定商品」のカタログなどには当社独自の「Green Policy Innovation ロゴマーク」を表示します。



■ 環境配慮ソリューション

環境貢献ソリューションは、ソリューション導入によるCO₂削減効果が15%以上確認できる商品にのみ認定をおこなっておりますが、それに満たない商品でも、環境負荷低減の取り組みが一定量見込める商品には環境配慮ソリューションの登録を行っております。

当社では09年度に以下3商品を環境配慮ソリューションとして登録致しました。

・「医療ワンストップサポートセンターサービス」 (詳細は次ページピックアップより)

リモート監視サービスにより、トラブルの未然防止と、万一の発生時にもセンターからの解決を実現します。従来は遠地のお客様の元へもSEが駆けつけておりましたが、人の移動を抑制する事で飛行機や電車を利用する場合に必要なCO₂を抑制します。※1

・「ファシリティサービス(K-IDC)」

当社データセンターでコンピュータを集中管理する事で、オフィススペースや空調の効率化を実現します。お客様の大切なシステムを安全、安心にエコな運用を致します。

・「中小企業向けBPOサービス」

複数のお客様の印刷業務を当社で一括して行う事で、機器の集約を実現します。また業務中発生する不要な紙を専門業者に委託し、再利用しております。

※1 トラブルの内容によっては従来通りSEが直接病院様にご訪問致します。



トピックス 医療ワンストップサポートセンター



全国100を超える病院様のシステム運用を24時間365日支えています。

■ 100病院様のサポートを達成しました

2008年11月10日にオープン致しました「医療ワンストップサポートセンター(以下、医療OSSC)」はおかげさまで2009年12月1日100病院様のサポートを達成致しました。
医療OSSCは全国の病院様と結ばれた専用線(VPN)を通じて24時間365日体制で電子カルテ(オーダリングシステム)のQA、トラブル対応を行っております。サポートを行っております病院様のシステムへは専用線によって常時安全にアクセス可能な状態を維持しており、病院様のシステム品質向上と万一のトラブル時の迅速な解決を実現します。



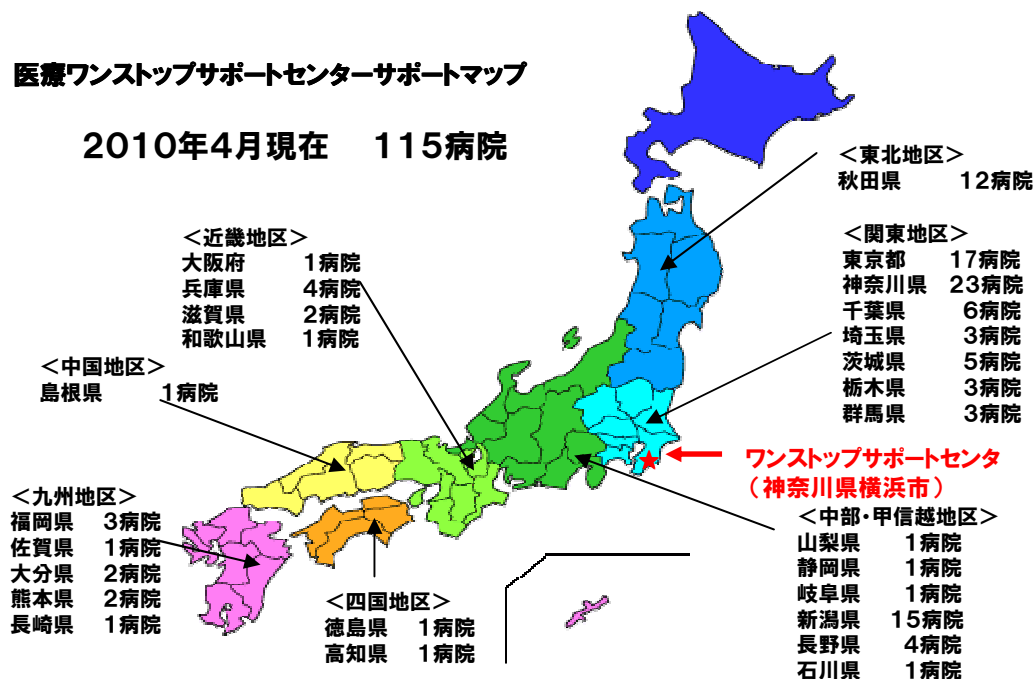
ヘルスケアソリューション本部
ワンストップソリューション事業部
事業部長 森本 豊

弊社がサポートを行っております、富士通の電子カルテシステムは2009年度国内シェア第1位(30.8%)※1のご支持を頂いておりますが、それに比例してより一層システムの安定稼働とトラブル防止に全力で取り組む責任も増しております。現在の社会は様々な領域でシステム化が進み便利になった反面、万一システムにトラブルが発生した場合には重大な影響を及ぼしてしまうリスクも増大しております。弊社の医療OSSCでは病院情報システムをご利用頂いている病院様で常に充実した医療サービスが提供されるように、24時間365日対応可能な体制を整えております。

※1 月刊 新医療「医療機器システム白書2009～2010」より

■ 医療ワンストップサポートセンターサポートマップ

2010年4月現在 115病院





各教育機関を通し、地元神奈川で学ぶ学生さんたちとの交流を大切にしています。

■ 地元教育機関との5つの取り組み

当社では数年前より、加盟している「神奈川県情報サービス産業協会・神奈川経済同友会」を通じて高校・大学との産学連携活動に取り組んでいます。

1. SE講座 提携している大学様へ当社より講師を派遣し、経験談に基づいた情報サービス産業業界の正しい理解を深めて頂く講座を開催しています。
2. 情報システム実践演習 産業能率大学様で情報サービス企業での実習を伴う講義として実施されており、2単位の取得が認められています。当社は受け入れ先の1社として年間数名の受け入れを行っています。
3. 産学チャレンジプログラム 神奈川経済同友会会員企業より実践的なテーマを学生に提示し、取り組んでもらっています。
4. 会社見学 中学生、高校生、子育て後の復職を目指す女性等様々な立場の方を対象に半日～1日の会社見学を行っています。
5. インターンシップ 情報サービス産業業界に興味を持っている、目指そうとしている学生を対象に数日間の業務体験を提供しています。

①産学連携SE講座

■ 8大学にて講義を実施致しました。

神奈川情報サービス産業協会の産学連携活動の一環として、情報処理産業について正しく理解して頂くために神奈川県内、県近郊の大学でSE講座を実施しています。2009年度は横浜商科大学、文教大学、産業能率大学、神奈川大学、東京情報大学、専修大学、東京工芸大学、関東学院大学(開催順)の全8大学様で当社社員がSE講座の講義をさせて頂きました。

本誌では2009年10月6日に産業能率大学様にて当社代表宮浦が行った講義について紹介させて頂きます。当日の受講者は180名を越え、質疑応答にも積極的に手があがっていました。閉講後にもメールでの問い合わせがあり学生さんの真剣な思いが伝わってきました。



産業能率大学様にて、講義中の当社代表宮浦

■ 産業能率大学様における講演概要

1.SEとは

1. SEの誕生
2. SEの定義・役割
3. SEに望まれる資質
4. SEの活躍する場面
5. 情報処理技術者試験区分
6. ITスキル標準の動向
7. システム開発の流れ

2.業界の話

1. IT環境の変化
2. IT業界の現状
3. 新技術
4. “次代のその先へ”

3.会社概要(富士通ワイエフシー)



■ 当社役員2名が新たに神奈川県情報サービス産業協会よりSE講座講師認定を頂きました。

神奈川県情報サービス産業協会の規定により、SE講座の講師には10年以上の実務実績があり、当業界について分かり易く解説ができるなど、一定の認定基準が設けられており、それを満たした者のみを大学様に派遣しております。09年度に新しく当社役員2名が協会よりこの認定を頂き、2010年4月現在総勢8名がSE講座の講師認定を頂いております。当社では今後も各大学様へ講師を派遣し、学生さんが情報サービス産業業界への理解を深めて貰える様に活動を継続する予定です。

当社SE講座講師認定者一覧

氏名	役職
宮浦 完次	代表取締役社長
渡邊 公二	取締役
中川 勉	取締役
大高 昌明	本部長
田代 正	本部長
奥寺 一人	本部長代理
遠藤 好昭	事業部長
五十嵐 恒夫	部長

②情報システム実践演習

■ 3名の学生さんにシステム開発を体験して頂きました。

当社では2007年度より、大学生に企業でシステム開発の実習経験を積んで貰う場の提供を行っております。2009年度は産業能率大学様で実施されている企業での業務体験を伴う講義と連携し、3名の学生さんの受け入れを行いました。

事前の打合せを経て2009年8月17日から28日の間当社にて「ソフトウェア資産管理システム」の開発を行いました。

9月15日には当社以外の受け入れ先3社を含め、神奈川県情報サービス産業協会主催の成果発表会が執り行われました。



当社にてシステム開発演習を行う産業能率大学の学生さんと指導中の当社担当 田中

■ 担当者コメント 製造システム事業部 田中 義彦

弊社事業所にて2週間、事前の活動を含めると2ヶ月の間、学生3名を向かえて5機能ほどの小規模システム開発を行ないました。小規模開発とは言っても、弊社では実務経験が1年はないと難しいレベルのもので、学生の皆さんには厳しく、また貴重な体験だったと思います。

この産学連携事業は、私も社会人としてインターンシップとの違いを考えました。インターンシップでは、短期間でさまざまな業務を行なっている企業のことを知ってもらうために、数日で(少なければ1日で)複数の部署で従事する、浅い経験になりがちです。しかし情報システム実践演習では、2週間の間で会社の雰囲気、システム開発の楽しさ・難しさ、自分の適性などを深く考えることができます。これは、学生にとって適性を踏まえた就職活動につながり、ひいては弊社や社会にとって役に立つ事業なのだと考えています。

2010年度もこの事業をサポートする予定です。新しい出会いを楽しみにしています。



③産学チャレンジプログラム

■ 第6回 神奈川産学チャレンジプログラム表彰式を執り行いました。

12月16日、社団法人神奈川経済同友会主催の「第6回産学チャレンジプログラム表彰式」にて、当社からの課題に対し研究レポートを提出して下さった学生さんのチームを表彰致しました。

■ 受賞チーム一覧

課題:情報処理サービス業で女性が出産しても輝いて働き続ける為に～ワークライフバランス・ダイバーシティの実現に向けて～

- 最優秀賞 東海大学チーム
- 優秀賞 神奈川大学チーム



第6回産学チャレンジプログラム表彰式の様子

■ 【産学チャレンジプログラムの趣旨】

神奈川経済同友会会員企業が、日常の経営課題の中から実践的な研究テーマを提示し、神奈川県内にキャンパスを有する本プログラム参加大学の協力を得て、各テーマにチャレンジする学生の募集を行い、提出された研究レポートを審査して、優秀な研究について表彰するものです。

東海大学チームには出産後職場復帰を行う女性社員への支援について発表を行って頂きました。弊社では育児休業の充実と高い取得率の維持(07年度は女性100%、男性3名取得)に務めていますが、いざ職場に復帰する際のフォローも重要です。東海大学チームの発表では円滑に復帰ができるように行う面接方法について詳細に解説して頂きました。

神奈川大学チームには育児中の就業者の間に育児の時間が十分に取れない、育児休業があっても同僚に迷惑ではないかと思ひ取得を躊躇う、といった声がある事紹介して頂きました。そういった事例への解決策として、子供の成長に合わせた時短勤務や、お互いに遠慮せずに休暇を取り合う雰囲気作りの方法などを提案して頂きました。

両チーム共にワークライフバランスのさらなる推進に役立てられる良い提案をして頂いた事が、賞の受賞に繋がったものと思います。



ワークライフバランス推進室
室長 法林 佳世





④会社見学

■ 横浜市立洋光台第一中学校

横浜市立洋光台第一中学校様の総合学習「職場について学ぼう」の一環として、中学1年生の生徒さん4名の職場訪問を受け、当社代表取締役社長の宮浦ほか3名が生徒さんからの質問に答え、また、事業所内を案内致しました。終始和やかな雰囲気でしたが、時には鋭い質問も飛び交い、地域の将来に素晴らしい光明を感じることができました。生徒さん側でも、普段接することの無い企業人と対面し、仕事上の「やりがい」や「大変さ」を直接伝えられることで、学校での学習とは一味違った経験をさせていただけたことと存じます。

■ 神奈川県立横浜清陵総合高等学校

横浜市南区にある神奈川県立横浜清陵総合高等学校様は、学習のカリキュラムに事業所見学を取入れ、生徒さんの職業観の育成に力を入れています。地元横浜の代表的な情報サービス企業として、当社にも毎年数名のIT業界に興味を持つ学生さんが訪れ、設備の見学や開発作業の体験を通し、情報サービス業についての理解を深められます。

2009年度は7月7日に6名の生徒さんが来社し、ホームページの開発作業を体験されました。

■ その他・高校生と女性技術者の交流会・会社見学実施

⇒ 2校 計8名 (11月)

⑤インターンシップ

■ 高校生1名、大学生9名に業務体験をして頂きました。

当社では毎年7、8月の学生の夏季休暇期間にインターンシップを実施しており、会社での業務体験の場を提供しております。2009年度は高校生は平日5日間、大学生は平日10日間の業務体験をして頂きました。受け入れ先ではVisual Basic言語を用いたプログラム作成、テスト仕様書作成、アウトソーシングセンターの運用、営業職に同行してのお客様訪問等実際の業務に準じた体験を行いました。

2009年度大学生用インターンシッププログラムの一例

週	実習日	日数	実習概要	担当部署/場所
①	8月3日 (月)	1	①オリエンテーション 及び ガイダンス ・自己紹介、事務手続き、事前アンケート記入、実習説明、業界説明、当社概要説明 ・就業規則他説明、ビジネスマナー、職場見学	総務部
	8月4日 (火)	2	②システムエンジニア・プログラマ職(第1日目) ・Visual Basicの使い方講義、サンプルプログラムを使ったVisual Basicの学習 ・ロジック構築ノートを使用したVisual Basicプログラムの作成演習	産業流通ビジネス本部 産業流通システム事業部 本社
	8月5日 (水)	3	③システムエンジニア・プログラマ職(第2日目) ・Visual Basic言語でプログラム作成演習、作成したプログラムについてテスト仕様書を作成 ・実業務のプログラムソースを基にプログラムの組み方等を講義	産業流通ビジネス本部 産業流通システム事業部 本社
	8月6日 (木)	4	④システムエンジニア・プログラマ職(第3日目) ・レンタルビデオ店向けのシステムをグループワークにて設計 ・システム開発の工程の説明	産業流通ビジネス本部 産業流通システム事業部 本社
	8月7日 (金)	5	⑤営業職(第1日目) ・営業職(事務作業、商談成立までの工程、営業職のやりがい等)の説明 ・顧客訪問体験	産業流通ビジネス本部 産業流通営業統括部 本社/社外
②	8月10日 (月)	6	⑥営業職(第2日目) ・顧客訪問体験	産業流通ビジネス本部 産業流通営業統括部 本社/社外
	8月11日 (火)	7	⑦運用技術職(第1日目) ・業務管理グループ(スケジュール管理、作業指示等)業務体験、封入封緘作業、データ入力 ・税金業務の消通通知書振分け作業、エラー修正	アウトソーシング本部 アウトソーシングセンター アウトソーシングセンター
	8月12日 (水)	8	⑧運用技術職(第2日目) ・業務管理グループ(スケジュール管理、作業指示等)業務体験 ・HFOグループ(業務説明、データ読合わせ、オペレーション)業務体験	アウトソーシング本部 アウトソーシングセンター アウトソーシングセンター
	8月13日 (木)	9	⑨運用技術職(第3日目) ・税金業務の消通通知書振分け作業、エラー修正 ・各社オペレーション作業	アウトソーシング本部 アウトソーシングセンター アウトソーシングセンター
	8月14日 (金)	10	⑩振り返り 及び まとめ ・日誌記入完成、研修後アンケート作成 ・PowerPointにて研修振り返り、まとめを作成。PowerPointを使用して振り返りとまとめを発表	総務部 本社



ボランティア活動について

社員のひとりひとりが、環境を意識した行動をこころがけています。

■ ボランティア活動実績

■ ペットボトルキャップ収集

NPO法人「Reライフスタイル」様を通じ、社内で集めたペットボトルキャップを提供するボランティア活動を実施しています。

- **環境保全、CO2削減**
ペットボトルのキャップをはずして、ゴミを減らしリサイクル資源として活用する。
(ゴミとして焼却処分されると400個で3,150gのCO2が発生します。)
- **社会貢献**
発展途上国の子どもたちにワクチンを贈る。
(キャップ400個で世界の子どもたちの命を救うワクチン一人分となります。)



NPO法人「Reライフスタイル」
<http://www.re-lifestyle.com/>

2009年度実績

2008年10月より取組みを開始し、2009年10月に約6500個(およそ16kg)を提供しました。
この取組みで削減できたCO2総量は約51,200g、16人分のワクチンを贈ることが出来ました。

■ 切手・プリペイドカード収集

シティリビング様を通じ、社内で集めた切手・プリペイドカードを提供するボランティア活動を実施しています。

- **社会貢献**
発展途上国の人々の健康と幸せ、自立支援、健康教育、環境衛生、母子健康・家族計画などの分野での国際協力に役立てる。

「シティ OL-AID」 <http://event.citywave.com/olaid/>

2009年度実績

2006年より取組みを開始し、2009年度は切手2341枚、プリペイドカード400枚を提供しました。
シティリビング様を通じ、財団法人ジョイセフ(家族計画国際協力財団)様に寄付されます。



富士通グループ全社共通の行動規範。

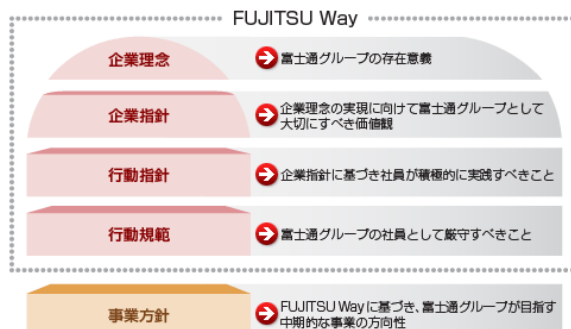
■ 富士通グループのコンプライアンスに関する基本的な考え方

富士通グループは、グループの理念・指針であるFUJITSU Wayにおいて、企業理念を実現するうえで社員一人ひとりが厳守すべき基本ルールとなる「行動規範」を定めています。

この「行動規範」では、法令および社会規範の遵守に関する富士通グループの姿勢を明確に打ち出しており、社員が業務を遂行するうえでの厳守すべき事項を挙げています。

■ 行動規範

- ・人権を尊重します
- ・法令を遵守します
- ・公正な商取引を行います
- ・知的財産を守り尊重します
- ・機密を保持します
- ・業務上の立場を私的に利用しません



行動規範(全文)

<http://jp.fujitsu.com/about/corporate/philosophy/codeofconduct/>

■ 当社のセキュリティ基本方針

ISMS基本方針

当社は、地域のお客様の企業価値向上をご支援し、また地域社会の発展のために確実に貢献する企業として、下記に掲げるISMS基本方針を定め、役員及び従業員が遵守することを宣言します。

1. 当社は、卓越した情報セキュリティ、最高レベルの情報セキュリティを目指します。
2. 当社は、情報セキュリティへの取組みを通じて、お客様満足度向上、社員満足度向上、独自能力の向上を目指します。
3. 当社は、保護すべき情報資産の機密性・完全性・可用性を維持するためリスクアセスメントを実施し、不正アクセス、漏洩・破壊・改ざん・紛失等のリスクに対する適切な管理策を講じます。
4. 当社は、情報セキュリティに関する法令及びその他規範、お客様の要求事項並びに契約上のセキュリティ義務を遵守します。
5. 当社は、全ての役員及び従業員に対して情報セキュリティの重要性を認識し、情報及び情報システムを適正に利用するよう定期的に教育・啓発活動を実施します。
6. 当社は、情報セキュリティ関連諸規程を定め、遵守状況を定期的に点検・評価することにより、効果的な情報セキュリティマネジメントシステムの継続的維持・改善に努めます。
7. 当社は、情報セキュリティ事故を未然に防ぐために必要な予防処置を実践するとともに、万一の発生時には速やかに根本原因を調査・分析し、再発を防止するために必要な是正処置を講じます。

ISMSとは・・・
 情報セキュリティマネジメントシステム (Information Security Management System) の略。





お預かりした情報を適切に管理します。

■ 個人情報保護方針

株式会社富士通ワイエフシー（以下、「当社」という）は、先進のITを基に、コンサルティングからシステム開発、コンピュータ機器の提供、アウトソーシングまで、情報システムのライフサイクルに応じた最適なソリューションを提供しております。

当社は、個人情報保護の重要性と情報サービス業としての社会性を認識し、個人情報の漏えい、滅失又はき損等の防止ならびに情報セキュリティマネジメントの強化を図り、個人情報の取扱いに万全を期してまいりました。

今般、更なる個人情報保護の強化を目指し、JIS Q 15001:2006「個人情報保護マネジメントシステム-要求事項」に準拠した個人情報保護マネジメントシステムを改めて整備いたしました。

この中で当社は、個人の人格尊重の理念の下、個人情報を安全かつ正確に取り扱うため、事業運営上の業務に従事する全ての者が遵守すべき行動基準として本個人情報保護方針を定め、全社一丸となって取り組み、お客様の信頼にお応えすることをお約束いたします。

1. 当社が個人情報を取得する場合には、あらかじめ利用目的および提供の有無を明確にし、本人の同意を得るとともに、その目的の範囲内で利用し、目的外利用を行わせない対策を実施します。
2. 当社は、取得した個人情報を委託する場合および第三者へ提供する場合、個人情報の保護水準を十分満たす者を選定し、個人情報の安全管理が図られるよう契約等により適切な措置を講じます。
3. 当社は、個人情報保護に関する法令、国が定める指針およびその他の規範を遵守します。
4. 当社は、個人情報の漏えい・滅失又はき損の防止・その他個人情報の安全管理のために、必要かつ適切な措置を講じるとともに、万一の発生時にはすみやかに是正処置を講じます。
5. 当社は、個人情報保護マネジメントシステムの継続的な見直しおよび改善を実施します。
6. 当社は、本人からの個人情報の開示、訂正、削除、利用停止等を求められた場合は、遅滞なくこれに応じるとともに、苦情および相談を受け付けて適切かつ迅速な対応を実施します。

【当社の個人情報の取扱いに関する申し出先、窓口】

株式会社富士通ワイエフシー 総務部 お客様相談窓口
TEL 045-453-7887 FAX 045-453-7886

2005年10月1日制定
2007年1月16日改定

■ プライバシーマーク付与の認定取得

当社では、お客様の大切な個人情報をお預かりする情報サービス企業として個人情報保護の重要性と情報サービス業としての社会性を認識し、個人情報の安全管理を重要な経営課題と認識してまいりました。このたび財団法人日本情報処理開発協会（JIPDEC）よりプライバシーマーク付与の認定を取得いたしました。

今後も個人情報保護方針に則り、個人情報を取り扱う事業者として、個人情報の適正な取扱いと安全管理に努めてまいります。



■ 事件事例報告

■ セキュリティ事件事例報告

2009年11月9日、当社にて個人情報の取り扱いにおける事故が発生致しました。本件につきましては、11月15日にプライバシーマーク制度の「プライバシーマーク制度設置及び運営要領」に基づき、日本情報処理開発協会 プライバシー事務局様へ事故の報告を行いました。お客様の個人情報をお預かりする企業として今回の事故を厳粛に受け止め再発防止を徹底致します。

事象: 協力会社へ送付する月次報告を誤って関係の無いお客様のメールアドレス宛に送付しました。
(ヘルスケアソリューション本部)

流出データ: 協力会社社員4名分のメールアドレスと月次報告に含まれていた顧客打合せ内容。
(お客様の個人情報は含まれていなかった事を確認しています。)

事故による影響: 誤ってメールを送付してしまったお客様へ連絡を取り、未開封状態で削除して頂いたため、情報漏洩には至らなかったと判断しています。

再発防止策: 社内セキュリティ委員会にて対策協議を行い、11月16日付けで以下の対策を実施しました。

- ・月次報告のメール送付を取りやめ、別の手段での通知に切り替えました。
- ・添付ファイルにはパスワードで暗号化を実施するようにしました。
- ・誤送信を防止する機能を搭載したメールチェックソフトを適用しました。

■ 編集後記

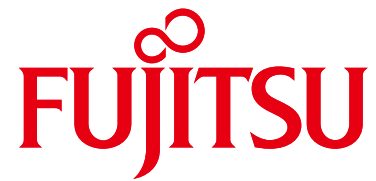
本年度は、低炭素社会に向けて実施してきた環境保全活動、各分野において環境に貢献する弊社のソリューション、また神奈川県、横浜市を中心とした地元への社会貢献活動をステークホルダーの皆様にご報告させていただきました。

小誌は、今回で発行通算3冊目となります。今後も、弊社が出来る環境保全活動社会貢献活動を積極的に実施し、紙面を通じてより多くの皆様に弊社を知っていただきたいと思っております。

当報告書についてご意見ご感想がございましたら、お申し出いただきたくよろしくお願い申し上げます。

経営戦略室
室長 田澤隆





shaping tomorrow with you